おとなと子どもの任意予防接種費補助金のお知らせ

任意予防接種は、予防接種法で定められたものではありません。ワクチンの効果や副反応について医師と相談し、十分にご理解のうえ、接種される方（保護者）の判断で予防接種を受けてください。

|  |
| --- |
| 補助対象者および申請 |

・接種時に高山村に住所を有し、下記の予防接種を受けた人またはその保護者が補助対象です。

なお、加入する健康保険組合等からの補助等がある場合は対象外となります。

・予防接種後、領収書（レシートやコピーは不可）と予防接種済証（母子健康手帳や予診票のコピー）、

金融機関の口座番号等がわかるものを持参し、高山村保健センターに申請してください。（申請は、接種終了後1か月以内）

|  |
| --- |
| 予防接種名、接種対象者、補助の回数・金額 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **予防接種名** | **接種対象** | **補助回数** | **補助金額** |
| おたふくかぜ | １歳～４歳未満 | １回 | 接種1回分の全額 |
| インフルエンザ | ・妊婦生後６か月～高校３年生相当の年齢まで | １年度１回 | ３，４００円まで |
| ６５歳以上（ 　　 ） | １年度１回 | 自己負担１，０００円を除く額 |
| 風 し ん | 風しん単独ワクチン | 妊娠を予定（希望）している女性とその夫妊婦の夫 | １回 | ３，０００円 |
| 麻しん風しん混合ワクチン | ５，０００円 |
| 高齢者用肺炎球菌 | ６６歳以上の定期対象外 | １回 （　　） | ５，０００円 |
| 帯状疱疹 | ５０歳以上 | 生ワクチン：１回　　または不活化ワクチン：２回 | 接種金額の半額（５，０００円まで） |

インフルエンザの対象６５歳以上とは、委託医療機関外で接種した場合を対象とします。

 高齢者肺炎球菌は、定期接種を実施した方は対象外です。



|  |
| --- |
| 医療機関 |

接種前に必ず予防接種の予約をしましょう。

母子健康手帳を必ず持って接種に出かけましょう。

|  |
| --- |
| 予診票 |

医療機関備え付けの予診票をご使用ください。

ただし、高齢者用肺炎球菌と風しんは、保健センター備え付けの予診票をご使用ください。

![C:\Users\c-hoshino\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\04SD5SPP\telephone-receiver-silhouette[1].jpg]()　　　　高山村保健センター保健師　　　　　　０２７９－６３－１３１１

　予防接種ミニ知識

ワクチンは、私たちの体内に免疫を作り出します。ただし自然感染のように実際にその病気を発症させるわけではありません。コントロールされた安全な状態で免疫を作り出します。接種後に症状が出ず、他の人へうつさないことが、ワクチンの利点です。しかし、ときにはおこってほしくない副反応が現れることがあります。正しい知識を持って接種しましょう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **予防接種名** | **ワクチン説明** | **接種時期と回数** | **副反応** |
| おたふくかぜ | ムンプスウイルスの感染で発症します。このウイルスを弱毒化した生ワクチンで、約９０％の割合で発病を防げます。 | １歳から接種可能で、1回接種します。幼稚園年長児の１年間に２回目を接種するとしっかり免疫がつきます。 | 接種部位の発赤やはれ、耳下腺の軽いはれが現れる場合があります。 |
| インフルエンザ | インフルエンザウイルスの感染により、インフルエンザを発症します。ワクチンは、ウイルスの病原性をなくした不活化ワクチンで、肺炎などの重症化を予防します。 | 長期間持続するワクチン効果は期待しにくいため毎年接種する必要があります。１３歳未満は２回（２～４週間の間隔で）、１３歳以上では１回（または２回）、６５歳以上は１回接種します。 | 接種部位の発赤、はれ、痛みなどがあります。全身反応として、発熱、悪寒、頭痛などが現れる場合もあります。 |
| 高齢者用肺炎球菌 | 肺炎球菌に感染し、免疫力が弱まっている時などに肺炎を発症します。ワクチンの接種により肺炎球菌感染症の感染・重症化の予防効果が期待できます。 | 肺炎による死亡率は７０歳を過ぎると増え始め、７０歳代後半からは急増します。定期予防接種の実施を含めて、おひとり1回のみ補助します。 | 接種部位の発赤、はれ、痛みや筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などが現れる場合があります。 |
| 帯状疱疹 | 水痘・帯状疱疹ウイルスは、水痘（水ぼうそう）の治癒後も体内で潜伏します。過労や加齢により免疫力が低下すると、ウイルスが再活性化して発症し、神経痛に移行することがあります。ワクチンの接種により、発症・重症化を予防します。 | 生ワクチンと不活化ワクチンの２種類あり、いずれかを接種します。生ワクチンは１回接種、不活化ワクチンは２回接種です。 | 接種部位の発赤やはれ、痛みなどがあります。全身反応として、発熱、筋肉痛、発疹などが現れる場合もあります。 |
| 風しん | 妊娠した女性（とくに妊娠２０週頃まで）が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓などに奇形が生じるなどの障がい（先天性風しん症候群）を持った赤ちゃんが生まれる可能性がありますので、風しん抗体価が低い場合は妊娠前に予防接種をおすすめします。なお、風しん抗体検査の補助を希望する場合は、吾妻保健福祉事務所へお問い合せください。 |

※予防接種料金は医療機関により異なります。

**補 助 申 請**

医療機関で接種後、保健センターあるいは

役場住民課で申請

〈必要書類〉　　申請書、印鑑、領収書、接種済証（母子手帳）、振り込み金融機関の口座

**高齢者用肺炎球菌**

肺炎球菌の中でも感染症を引き起こしやすい型に対応したワクチンです。定期接種で定められた年齢の方以外の方が初めて接種した場合のみ補助の対象です。

予防接種健康被害救済制度

任意予防接種を受けて健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済に加え、全国町村会総合賠償補償保険の行政措置災害補償保険の対象となります。